

# 第1回津山市総合計画審議会 議事要旨

平成26年10月14日(火) 13:30～

津山市役所 2階 大会議室

## 1. 開会

## 2. 委嘱状交付

<市長より各委員へ委嘱状を交付>

## 3. 市長挨拶

- ・ご出席と、審議会委員へのご就任に、心より感謝を申し上げます。
- ・総合計画策定までの間、今後のまちづくりについて、ご審議をお願いする。
- ・本市においては、第4次総合計画のもと、「活力と安心」「自立・自助」「共創・協働」のまちづくりを基本理念に、市政推進を図っている。
- ・しかし、喫緊の課題である人口減少のスピード抑制には至っていない。日本創成会議が、ここ30年間の、若年女性の大都市への流出による人口半減の可能性を指摘し、本市においてもほぼ同様の状態になるとされている。
- ・安倍政権は地方創生の取り組みを進めておられるが、本市においても成長戦略計画を策定し、「農林業」「エネルギー」「ものづくり」「観光」の4分野において独自の活性化施策に取り組んでいる。
- ・津山市第5次総合計画の策定にあたっては、私の政治理念である「市民目線」を大切にし、市民の皆様の声を計画に反映してまいりたい。
- ・皆様の豊富な知識・経験に基づき、将来の潮流を見据えた持続可能な津山のまちづくりについて忌憚のないご意見を賜りたい。
- ・当審議会は長期間に及び、審議内容も多岐にわたるが、ご協力をお願い申し上げます。

## 4. 審議会委員の紹介

<司会より各委員を紹介>

<津山市からの出席者・事務局・コンサルタントの紹介>

## 5. 正副会長の互選

○委員の求めで、事務局案（会長：杉山慎策就実大学経営学部学部長、副会長：村木正司岡山県美作県民局長）を示し、拍手で承認された。

## 6. 会長挨拶

- ・ご推挙いただき、感謝申し上げます。
- ・津山は私のふるさとであり、育ててもらったふるさとに恩返しをしたい。
- ・津山市に対する思いは、皆様に負けなつもりでいる。
- ・今後10年間という長期間の、津山のあるべき姿を決める重要な計画である。
- ・期間中には市制90周年を迎え、その後、100周年という大きな節目もあり、私たちは、重い責任を持っているのではないかと。
- ・一方、津山市の環境は、非常に厳しい。人口減対策や、真に残すべきものは何か、育てていくべきものは何か、しっかり考え、議論していただいて、進めてまいりたい。
- ・ご協力を、よろしくお願い申し上げます。

## 7. 報告事項

### （1）津山市総合計画審議会規則及び策定委員会設置要綱について

（事務局）○津山市総合計画審議会規則の説明

○津山市総合計画策定委員会設置要綱及び策定委員会等の名簿の説明

<拍手で承認>

## 8. 協議事項

### （1）津山市総合計画審議会傍聴要領について

（事務局）○津山市総合計画審議会傍聴要領（案）の説明

<全会一致で原案どおり承認>

<会長の指示により、傍聴者1名入室>

### （2）総合計画策定要領について

### (3) 審議会等のスケジュールについて

(事務局) ○津山市第5次総合計画策定要領(案)の説明

○津山市総合計画審議会運営スケジュール(案)の説明

(委員) ○策定委員会が原案を提出し、それを審議する流れと理解した。

○その際、第4次総合計画の現段階での到達点、課題や問題点の共有が必要ではないか。分かりやすく、可視化して示してほしい。

(事務局) ○現在、津山市の現状や、今後の推計などのデータを分析している。

その結果を、次回には示したい。第4次総合計画の実績などの取りまとめも、お示ししたい。

(会長) ○できるだけ第4次総合計画の状況を可視化して示してもらい、それを踏まえて審議を進めたい。

(委員) ○合併後10年で、地域審議会が年度末で解散するが、地域審議会から出ている審議会委員はどうなるのか。

○合併時に作った新市建設計画の総括との整合も大切ではないか。

(事務局) ○4つある地域審議会は、3月に解散する。形を変えて存続させてはどうか、という考えもあり、新しい形になった審議会ができた場合、そこから推薦いただくことも見込んでいる。

○新市建設計画の10年間のまとめは、今後行っていきたい。まとめればお示しする。

<全会一致で原案どおり承認>

## 9. その他

(事務局) ○次回は、平成27年1月13日(火)10時から。

○次回の内容は、各種データ分析の結果や、地区別懇談会等の日程などを予定している。

○審議会での発言内容は、発言者を特定せず、骨子を公開する。

## 10. 閉会